

平成27年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔43〕 東京都台東区立寿児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ					
(3)経営状況	(26年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,824,133,063円, 支出2,782,383,774円, 収支差額41,749,289円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区寿1-4-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の乳幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日まで：午前9時半～午後6時 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日を除く) 一部開放：日曜日(第三日曜日を除く)・5月5日 午前9時半～午後6時					
(5)規模	RC地上3階地下2階建て 事務室・遊戯室・図書室・事務室・図工室・集会室・倉庫・機械室・こどもクラブ室等					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団及び個別の指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算	委託料	42,570,000	42,568,000	42,500,000	42,336,000	39,230,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	42,570,000	42,568,000	42,500,000	42,336,000	39,230,000
決算	委託料	36,790,997	35,546,742	42,437,314	38,031,576	38,677,769
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	20,000	0	10,000	651,334	21,650
	管理経費	36,810,997	35,546,742	42,447,314	38,682,910	38,699,419
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
開館日数		日	335	334	333	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (28年度)	24年度	25年度	26年度
利用者数		人	48,000	45,800	51,336	59,510

7. 平成26年度評価結果に対する現在までの取組み

遊戯室等の利用について、時間及び各部屋の活動での住み分けを行い、様々な遊びが展開できるような工夫をした。
 保護者向け活動により、男性保護者や家族での日常利用が増え、特に土日の利用が増加した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [3]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	各部屋の遊びの住み分けにより、幅広い年齢層が様々な遊びを展開できるよう工夫している。また、各部屋の遊びのテーマを月ごとに変えて、日常遊びの充実を図っている。
(2)施設の維持管理	A	各部屋を定期的に点検することで、速やかな修繕を行い、破損や故障の防止に努めている。乳幼児の遊具や手摺、ドアノブ等の子供たちが触れる場所の消毒を徹底し、衛生管理と感染防止に努めている。
(3)利用者の満足度	S	保護者向け活動により、乳幼児・園児親子の利用が増え、男性保護者や家族での日常利用及び土日利用の増加に繋がった。また、小学生からの継続した利用により、高学年や中学生の利用も増えている。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進するほか、消耗品の一括購入や長期契約により経費の効率化を図っている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	保護者向け活動を充実したことにより、乳幼児親子等の日常利用・土日利用に繋がり、利用者数は大幅に増加した。また、時間や場所の住み分けを行い、幅広い年齢層が継続して日常利用できるよう工夫している。
-----------	--

11. 平成27年度評価結果に対する今後の対応

乳幼児親子から中学生までの幅広い年齢層の利用者に時間とスペースによる、さらなる住み分けの工夫を凝らしていく。
 男性保護者を含めた利用者が増えていることから、継続的な利用につながるよう保護者向け活動の充実を図っていく。